第７３回南あわじ市議会定例会議事日程（第１号）

平成２９年８月２８日（月）午前１０時開議

第１　会議録署名議員の指名

第２　会期の決定

第３　諸般の報告

第４　行政報告

第５　委員会調査報告

第６　承認第３号　損害賠償額の決定及び和解の専決処分の承認を求めることについて

第７　承認第４号　平成２９年度南あわじ市一般会計補正予算（第２号）の専決処分の承認を求めることについて

第８　議案第５９号～議案第６１号（３件一括上程）
議案第５９号　南あわじ市土地改良事業分担金等徴収条例の一部を改正する条例制定について
議案第６０号　南あわじ市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
議案第６１号　南あわじ市いじめ問題対策連絡協議会等条例の一部を改正する条例制定について

第９　議案第５８号　平成２９年度南あわじ市一般会計補正予算（第３号）

第１０　議案第５７号、議案第６２号、議案第６４号（３件一括上程）
議案第５７号　平成２８年度南あわじ市国民宿舎事業会計の欠損金の処理について
議案第６２号　公の施設の指定管理者の指定について（国民宿舎）
議案第６４号　損害賠償額の決定及び和解について

第１１　議案第６３号、議案第６５号（２件一括上程）
議案第６３号　南あわじ市土地改良事業の計画の概要を定めることについて
議案第６５号　損害賠償額の決定及び和解について

第１２　認定第１号～認定第１５号（１５件一括上程）
認定第１号　平成２８年度南あわじ市一般会計決算の認定について
認定第２号　平成２８年度南あわじ市国民健康保険特別会計決算の認定について
認定第３号　平成２８年度南あわじ市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
認定第４号　平成２８年度南あわじ市介護保険特別会計決算の認定について
認定第５号　平成２８年度南あわじ市訪問看護事業特別会計決算の認定について
認定第６号　平成２８年度南あわじ市土地開発事業特別会計決算の認定について

認 定 第 ７ 号　　平成２８年度南あわじ市産業廃棄物最終処分事業特別会計決算の認定について

認 定 第 ８ 号　　平成２８年度南あわじ市ケーブルテレビ事業特別会計決算の認定について

認 定 第 ９ 号　　平成２８年度南あわじ市下水道事業会計決算の認定について

認定第１０号　　平成２８年度南あわじ市農業共済事業会計決算の認定について

認定第１１号　　平成２８年度南あわじ市国民宿舎事業会計決算の認定について

認定第１２号　　平成２８年度南あわじ市広田財産区特別会計決算の認定について

認定第１３号　　平成２８年度南あわじ市福良財産区特別会計決算の認定について

認定第１４号　　平成２８年度南あわじ市北阿万財産区特別会計決算の認定について

認定第１５号　　平成２８年度南あわじ市沼島財産区特別会計決算の認定について

第１３　同意第３０号　　南あわじ市広田財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて

第１４　同意第３１号　　洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任につき同意を求めることについて

第１５　諮問第２号、諮問第３号（２件一括上程）

諮 問 第 ２ 号　　人権擁護委員候補者の推薦について

諮 問 第 ３ 号　　人権擁護委員候補者の推薦について

議　員　派　遣　報　告　書

平成２９年８月２８日　定 例 会

第７２回定例会より本日までの地方自治法第１００条第１３項及び会議規則第１６２条の規定による議員派遣について、次のとおり報告します。

1　島根県安来市議会行政視察受入
　(1)　派遣場所　　議員協議会室
　(2)　期　　間　　平成29年6月30日
　(3)　派遣議員　　議長、産業厚生常任委員長

2　関空航路就航の記念式典
　(1)　派遣場所　　洲本ポートターミナルビル
　(2)　期　　間　　平成29年7月8日
　(3)　派遣議員　　議長、各常任委員長

3　沖縄県名護市議会行政視察受入
　(1)　派遣場所　　議員協議会室
　(2)　期　　間　　平成29年8月3日
　(3)　派遣議員　　議長、産業厚生常任委員長

4　淡路地域正副議長会定例会
　(1)　派遣場所　　淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
　(2)　期　　間　　平成29年8月14日
　(3)　派遣議員　　正副議長

5　戦没学徒追悼献花式
　(1)　派遣場所　　若人の広場公園
　(2)　期　　間　　平成29年8月15日
　(3)　派遣議員　　全議員

議　　長　　報　　告

平成２９年８月２８日　定　例　会

第７２回定例会を平成２９年６月２１日に閉会しましたが、その後の議会及び議長の活動状況について次のとおり報告いたします。

（平成29年度）

６月	21 日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	23 日	政治倫理条例に関する調査特別委員会	委員会室
	24 日	南あわじ市「夢プロジェクト」少年少女スポーツ指導者講演会並びに意見交換会（議長、産業厚生常任正副委員長出席）	慶野松原荘
	29 日	淡路政経懇話会6月例会（議長出席）	洲本厳島神社
	30 日	島根県安来市議会行政視察受入（議長、産業厚生常任委員長出席）	議員協議会室
７月	１日	慶野松原海水浴場海開き神事（議長、総務常任委員出席）	慶野松原海水浴場
	〃	南あわじ市連合自治会大会及び地域づくり大交流会（議長出席）	南淡路ロイヤルホテル
	２日	阿万海岸海水浴場海びらき（議長、総務常任委員出席）	阿万海岸海水浴場
	３日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
４日 ～	６日	総務常任委員会視察研修（議長、総務常任委員出席）	カムバックひょうご東京センター、まるごとにっぽん、千葉県大網白里市・旭市
	８日	南あわじ市小学生相撲大会（議長出席）	賀集小学校相撲場
	〃	関空航路就航の記念式典（正副議長、各常任委員長出席）	洲本ポートターミナルビル
	〃	南あわじ市ふれあい文化芸能祭（カラオケ部門）（全議員出席）	中央公民館
	９日	南あわじ市ふれあい文化芸能祭（芸能部門）（全議員出席）	中央公民館

	9 日	南あわじ市消防操法大会（正副議長、総務委員出席）	三原川河川公園多目的広場
	10 日	兵庫県町議会議員公務災害補償組合議会臨時会（議長出席）	ホテル北野プラザ六甲荘
	11 日	東播・淡路市議会議長会定例会（正副議長出席）	ホテルニューアワジ
	12 日	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	13 日	兵庫県連合自治会総会（議長出席）	南淡路ロイヤルホテル
	14 日	全国離島振興市町村議会議長会総会（議長出席）	全国町村議員会館
	18 日	議会運営委員会	委員会室
	19 日	兵庫県市町村職員年金者連盟南あわじ支部大会（総務常任委員長出席）	うめ丸
19 日 ～	21 日	産業厚生常任委員会視察研修（議長、産業厚生常任委員出席）	山口県長門市、島根県立古代出雲歴史博物館、岡山県総社市
	21 日	南あわじ市青少年健全育成市民会議（議長出席）	中央公民館
	23 日	南あわじ市男子・南あわじ市女子ソフトボール大会（議長出席）	三原健康広場グラウンド
	〃	淡路人形浄瑠璃後継者団体発表会（議長出席）	洲本市文化体育館
	〃	南あわじ市良太郎西瓜収穫祭（議長、産業厚生常任委員出席）	美菜恋来屋
	24 日	議員協議会	議員協議会室
	〃	淡路議会議員研修会（全議員出席）	淡路市防災あんしんセンター
	25 日	産業厚生常任委員会（南あわじ市教育委員会との意見交換会）	議員協議会室
	26 日	兵庫県市議会議長会総会（正副議長出席）	姫路キャッスルグランヴィリオホテル
	〃	洲本市・南あわじ市衛生事務組合議会臨時会	やまなみ苑
	28 日	淡路政経懇話会7月例会（議長出席）	洲本厳島神社

	29 日	兵庫県人権教育研究大会淡路地区大会（議長出席）	しづかホール
	〃	南あわじ市市民まつり「慶野松原花火大会」（議長、総務常任委員出席）	慶野松原海水浴場
	31 日	子ども議会（全議員出席）	議場
8 月	3 日	政治倫理条例に関する調査特別委員会	委員会室
	〃	沖縄県名護市議会行政視察受入（議長、産業厚生常任委員長出席）	議員協議会室
	4 日	南あわじ市まとい会総会（議長出席）	花ホテル
	14 日	淡路広域団体議会議員協議会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	淡路地域正副議長会定例会（正副議長出席）	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	福良夏祭り大綱曳神事（総務常任副委員長出席）	慈眼寺入口交差点
	〃	南あわじ市市民まつり「福良湾海上花火大会」（議長、総務常任委員出席）	うずしおドームなないろ館駐車場
	15 日	戦没学徒追悼献花式（全議員出席）	若人の広場公園
	18 日	議員協議会	議員協議会室
	〃	議会広報広聴常任委員会	委員会室
	19 日	「淡路島・南海島サッカー交流事業」大会式典（議長出席）	洲本市五色台運動公園「アスパ五色」
	21 日	総務常任委員会	委員会室
	22 日	議会運営委員会	委員会室
	23 日	淡路地域づくり懇話会（議長出席）	洲本総合庁舎
	〃	淡路広域団体議会定例会	淡路広域消防事務組合消防本部庁舎
	〃	洲本市・南あわじ市衛生事務組合決算監査	やまなみ苑
	24 日	産業厚生常任委員会	委員会室

27 日	南あわじ市文化協会創立10周年記念イベント～淡路人形浄瑠璃鑑賞会～（議長出席）	淡路人形座

地方自治法第121条の規定により説明のため出席する者の職氏名

平成29年8月28日

市長	守本憲弘
副市長	馬部総一郎
教育長	浅井伸行
総務部長	佃信夫
企画部長	堤省司
危機管理部長	北口力
市民部長	山崎稔弘
福祉部長	藤岡崇文
農林水産部長	赤松啓二
農林水産部付部長 （農水・商工・観光連携担当）	喜田憲和
建設部長	原口久司
会計管理者	塔下佳里
教育次長	福原敬二

平成２９年８月２８日

南あわじ市議会
　議長　印　部　久　信　様

総務常任委員会
　委員長　谷　口　博　文

委　員　会　調　査　報　告　書

第６９回南あわじ市議会定例会において総務常任委員の選任が行われて以後、閉会中に開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第１０８条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調　査　概　要

1　調査事件

（1）市の総合的企画、調整について
（2）行財政計画について
（3）市有財産の維持管理と財源の確保について
（4）商工業及び観光の振興について
（5）消防・防災対策の推進について
（6）情報化の推進について
（7）離島振興対策について
（8）国際交流及び友好市町の調査について
（9）人権施策について
(10) 税の賦課徴収について
(11) 生活環境の整備推進について
(12) 選挙管理委員会、監査委員、固定資産評価審査委員会に関すること

2　調査の経過

平成２８年１１月２２日、第６９回南あわじ市議会定例会において総務常任委員の選任が行われ、以後、閉会中の所管事務調査申し出の承認を受け、４回にわたり委員会を開催し、調査を行った。

また、民間団体との意見交換会や所管調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている自治体等へ管外調査を３日間にわたって実施した。

（1）所管事務調査のため開催した委員会
平成２９年１月１９日、２月１７日、４月２０日、８月２１日

（2）管内調査
平成２９年５月８日
○淡路島観光協会との意見交換会及び管内施設調査

（3）管外調査
平成２９年７月４日～６日
○カムバックひょうご東京センター
・移住定住・就労相談事業について
○㈱まるごとにっぽん
・アンテナショップ現地調査について
○千葉県大網白里市

・市民協働事業について
○千葉県旭市
・津波被害からの教訓をうけて

3　調査の結果

（1）市の総合的企画、調整について

本年６月に、１０年後の南あわじ市の将来像と目指すべきまちの姿を示す第２次南あわじ市総合計画が策定された。南あわじ市で生まれ育ったことを誇りに思い、若い人が帰ってきたいと思うような魅力の場、市内で生活できるような雇用創出の場の実現に取り組まれたい。また、パブリックコメントでの市民の声や意見を反映しながら、市民や地域の幸福が実現できるようなまちづくりを進められたい。

市民交流センターのあり方について、以前はぞれぞれの分庁舎で現地解決型をとっていたが、今は一部証明書のみの発行で、市役所が遠くなったとの声がある。島内の他の２市は現地解決型をとっており、それぞれ特徴はあるが、地域の事務局としての市民交流センターのあり方を今後においても検討されたい。

市民課の窓口対応について、特に３月、４月の窓口が混雑しているときは地元の交流センターを利用していただくよう案内をしている。地元交流センターの認識を再度周知し、市民課窓口においては、カード発券機を設置し、待ち時間を表示したり、フロアマネージャーを外部委託して専任にするなど、改善策を講じられたい。また、今後市民交流センターのあり方を検討していく中で、現状を把握した基礎データの収集に努められたい。

マイナンバーカードについては、カード発行率が低迷している。カード自体に何らかの付加価値をつけ、市役所全体で魅力を高める取り組みを考え普及に努められたい。

名誉市民については、ホームページでの紹介を通じて、市の認知度向上につながるので積極的に発信されたい。また今後においては、様々な功績を残された方の認定に向けて、市民の郷土愛の醸成にもつながるので積極的に検討されたい。

地域おこし協力隊については、３年間の活動を通じて地域の課題を見つけ、自ら行動し、その活動を通じて仕事、起業の準備をしていくことを目的としている。３年後には協力隊の方に定住・定着を図っていただくことを見据え、多方面から補助制度の紹介や、相談に応じやすい体制を整えるよう取り組まれたい。

人口減少対策として、マイホーム取得事業補助金として４年間の事業が創設されている。当市は「子育てにやさしいまち」として結婚促進事業から始まり、切れ目なく子育て支援事業も展開している。引き続き、事業が継続されるよう検討されたい。

（2）市有財産の維持管理と財源の確保について

市工事等の入札制度において、品質保持の観点から平成２０年１０月より最低制限価格制度を導入している。今後においても入札制度の見直しや分析等、より適正

な価格を導く方策を検証されたい。

（３）商工業及び観光の振興について

島内でのインフラ整備について、１次アクセスとして淡路島への公共交通機関の乗り入れ、２次アクセスとして島内での交通機関の整備の推進が望まれる。地域活性化へつながるよう、島内３市で早急に取り組まれたい。また観光施設におけるインバウンドの集客効果も見込まれる中、多言語案内の表示板等、引き続き整備を進められたい。

平成２８年４月に日本遺産の認定をうけたが、ＰＲ不足が感じられる。「国生みの島・淡路」の魅力を国内外に発信し、地域の資源として地域活性化や観光振興につながるよう観光協会と一体となったＰＲの取り組みを期待する。

うずしお世界遺産登録推進について、平成２９年度は本格的な地形地質調査が行われ、うずしおの実測、国内の他の類似施設との比較等、取り組まれているとのことだが、地元市民に対して世界遺産登録に向けての運動の理解や意識づけ、講演会等の開催など、さらなる啓蒙活動に努められたい。

（４）消防・防災対策の推進について

近い将来発生が懸念される南海トラフ巨大地震による津波への備えとして、避難路整備を進めているが、４月沼島において暴風波浪警報発令中に長時間の停電が発生した。発生が夜間であったため、避難路も暗く歩きにくい状況であった。夜間の避難時についても今後の課題にしていただきたい。

また家屋が倒壊した場合でも避難できる道幅の確保など、地域と十分協議の上、安全な避難路整備を進められたい。

（５）情報化の推進について

ケーブルネットワーク淡路の民間化後も自主放送を制作する経費として維持費、人件費が必要となる。民間移行後も、新しいホットなニュース、魅力ある番組作りに鋭意努力されたい。

（６）生活環境の整備促進について

環境保全、環境衛生の推進において、平成２８年よりリユース事業が展開されているが、申請がないようである。事業のＰＲに取り組まれたい。

南あわじ市のゴミのリサイクル率は１５．９％、兵庫県平均は１６．８％であり、県下トップは神河町の６０．４％である。生ごみを自家処理することで率が上がると思われるので、生ごみ処理機やコンポストの助成制度の啓発や補助金制度の周知徹底を図りながら、ゴミの減量化の推進に努められたい。

またゴミを資源化とした先進的な自治体として、人を呼び込み、交流人口を増やし経済循環を促すよう取り組んでいただきたい。

平成２９年８月２８日

南あわじ市議会
議長　印　部　久　信　様

産業厚生常任委員会
委員長　川　上

委　員　会　調　査　報　告　書

第６９回南あわじ市議会定例会において産業厚生常任委員の選任が行われて以後、閉会中に開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第１０８条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調　査　概　要

1　調査事件

（1）教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について
（2）医療体制と健康づくりの推進について
（3）青少年の健全育成について
（4）福祉対策について
（5）介護保険と高齢化社会対策について
（6）農業振興の推進について
（7）水産振興の推進について
（8）都市整備事業の推進について
（9）下水道事業の推進について
(10) 農業委員会に関すること

2　調査の経過

平成２８年１１月２２日、第６９回南あわじ市議会定例会において産業厚生常任委員の選任が行われ、以後、閉会中の所管事務調査申し出の承認を受け、５回にわたり委員会を開催し、調査を行った。

また、調査事項について現状を把握するため、先進的取り組みを行っている自治体への管外調査を３日間にわたって実施した。

（1）所管事務調査のため開催した委員会
平成２９年1月２０日、２月２４日、４月１３日、５月１１日、８月２４日

（2）管内調査
平成２９年7月２５日
○南あわじ市教育委員会との意見交換会
・教育行政全般について

（3）管外調査
平成２９年7月１９日～２１日
○山口県長門市
・水産物のブランド化及び需要拡大事業について
○島根県立古代出雲歴史博物館
・加茂岩倉遺跡出土銅鐸について－同笵銅鐸における出雲と淡路の関係－
○岡山県総社市
・生涯現役促進地域連携事業について

・新生活交通「雪舟くん」について

3　調査の結果

（1）教育の充実・文化、スポーツの振興と関係施設の整備について

学童保育において、市内の学校区で３校が未開設となっている。その３校については、場所の確保はできているが、指導員の不足により開設できないとのことである。引き続き指導員の募集等を行い、全学校区で開設できるよう努められたい。

入学準備資金については、本市では入学後の７月頃の支給となっているが、ランドセルや体操服等の購入には大きな経済的負担がかかるため、入学前に支給できるよう制度の改正を行われたい。

平成２８年度予算において、サッカー場建設調査業務委託料を計上し、候補地の調査が行われていたが、様々な法規制や経費の問題等から難航している。地域の活性化及びスポーツ振興に向けて、種々の可能性を十分検討の上、建設に向けて努力されたい。

松帆銅鐸においては、奈良文化財研究所において昨年度から科学的な調査研究が進められており、平成３１年度末をめどに基礎的事項についての調査報告書を発行し、平成３２年度末をもって調査成果を発表する予定であり、その後は本市において保存、管理、展示等を実施していくとのことであるが、本市における具体的な取扱いについて、関係部局と協議しながら順次進められたい。

（2）医療体制と健康づくりの推進について

現在、市内には分娩を取り扱う医療機関がないため、市外または島外の医療機関を受診しなければならない状況である。安心して出産できるよう、市内における分娩施設の設置または市外、島外の医療機関へ通う方への通院費助成制度の確立について検討されたい。

（3）青少年の健全育成について

市内において、不審者情報が警察へ寄せられており、高校生以下の子どもが被害に遭うケースが多いとのことである。地域の人々が地元の子ども達を見守り、不審者から守る観点から、声かけは有効である。しかし、子ども達から見ると、声をかけた方が地域の方なのかどうかが判断しにくいため、腕章等の目印になるものを身に着けるなど、地域全体で子育てに安心なまちであるという意思表示ができるような対策を検討されたい。

（4）福祉対策について

保育士の人員配置について、市内の公立保育所では、多くの嘱託職員が正規職員と同様に担任を受け持っている状況が常態化している。現場の声に耳を傾け、保育現場の実態を把握し改善を図られたい。

市保育所及び広田保育園については、受入児童数が定員を超えており、園舎の規

模に限界を感じる。増設または移転等の検討もされているが、園児の健全な保育環境を整えるためにも早急に施設の整備を進められたい。

（５）農業振興の推進について

「美菜恋来屋」の経営状況について、売上増を目指して、販売員をはじめスタッフが一丸となって様々な取り組みを行ってきた結果、前年に比べ売り上げが伸びている。要因は、品数がそろってきたこと、淡路ビーフの評判が浸透しつつあること、市内外の飲食店、宿泊施設において、地元産の新鮮な野菜や肉類の購入が増加していること等が挙げられ、客単価も昨年より伸びている。しかし、入込客数が若干減少しており、誘客対策が課題である。「美菜恋来屋」が身近なものとして市民に浸透しておらず、存在自体もまだまだインパクトに欠けている。メディアの利用等により、さらにＰＲに努められたい。

市内におけるタマネギの生産量については、重量野菜であることから農家の負担が大きいため、高価格で安定しているレタス等の葉物野菜へ作付を移行する傾向にあり、タマネギの価格が下落すると生産量も減少していくことが懸念される。近年、「淡路島たまねぎ」がブランドとして人気が定着する中、農協等と協議しながら、生産量を維持する対策に努められたい。

（６）水産振興の推進について

水産振興課と商工観光課が連携して、生産部門とＰＲ部門それぞれ調整しながら、水産物の需要拡大を図るとのことだが、現在力を入れているサクラマス以外にも需要拡大の可能性のある魚種の研究および発展に努めると共に、漁獲量の安定供給にもさらに取り組まれたい。

漁獲量の向上及び安定化について、海中の栄養塩不足や、海底の酸素不足を改善するため、下水道の放流水濃度の調整、海底耕運を行って酸素を泥の中に送り込む作業、潮の流れを作り出す撹拌魚礁を設置する等、様々な取り組みを行っているところである。今後も、水産事業における情報収集及び漁業組合、漁業関係者と協議しつつよりよい対策を施されたい。

（７）都市整備事業の推進について

市役所庁舎前の市道市５号線における、国道２８号線への接続工事について、物件移転の補償に関する交渉に時間がかかり、当初予定されていた、国道整備工事の完成には間に合わないが、市民の利便性のためにも早期の開通に鋭意努力されたい。

本年度、サイクリスト支援事業として、サイクルステーションの整備及びサイクリングコースの作成等が実施されるようだが、市内において自転車が安全に走行できる道路の整備が遅れている状況にある。建設部門と観光部門の連携はもとより、国道、県道の管理者とも十分協議して対応されたい。

（８）下水道事業の推進について

下水道接続のための管渠工事は、人口が減少したことにより、費用対効果が著し

く低い地域については、当初の計画を変更して、集合処理から合併浄化槽区域に変更する等の対応も検討していく必要がある。地元への計画変更に関する今後の対応策を検討した上で早急に進められたい。

（9）農業委員会に関すること

農業委員会制度の改正によって、農業委員は従来の公選制を廃止し、市長の選任により議会の同意を得て任命されることとなり、また、農地利用最適化推進委員が新設され、農業委員と推進委員の連携により農業委員会が運営される。農地等の利用の最適化が推進されるよう、新制度の移行及び実施に努められたい。

平成２９年８月２８日

南あわじ市議会
議長　印　部　久　信　様

議会広報広聴常任委員会
委員長　原　口　育　大

委　員　会　調　査　報　告　書

第６９回南あわじ市議会定例会において議会広報広聴常任委員の選任が行われて以後、閉会中に開催された所管事務調査の経過及び結果を会議規則第１０８条の規定により、別紙のとおり報告いたします。

調　査　概　要

1　調査事件

（1）広報活動に関する事項
（2）広聴活動に関する事項
（3）議会広報紙に関する事項
（4）議会報告会に関する事項

2　調査の経過

平成２８年１１月２２日、第６９回南あわじ市議会定例会において議会広報広聴常任委員の選任が行われ、以後、閉会中の所管事務調査申し出の承認を受け、１１回にわたり委員会を開催し、各事項について調査を行った。

また、特色ある取り組み等を行なっている関係団体への管外調査等を実施した。

（1）調査のため閉会中に開催した委員会

平成２８年　１２月１４日
平成２９年　1月５日・１３日・２３日、3月３１日、４月１１日・１８日、
　　6月２１日、7月３日･１２日、8月１８日

（2）管外調査

平成２９年2月８日～９日
○東京都あきる野市議会
・議会だよりの編集について
○株式会社ジェイクリエイト
・議会だよりの編集について

平成２９年5月１７日～１８日
○島根県安来市議会
・議会だよりの編集について
・議会報告会について
○鳥取県北栄町議会
・議会だよりの編集について
・高校生議会について
・議会報告会について

（３）管内調査

平成２９年２月２０日

○子育て学習・支援センター

子育て学習・支援センター参加者との意見交換

テーマ　「住みよいまちづくりについて」

３　調査の結果

（１）広報活動

○広報紙の発行

定例会の報告として「議会だより」を年４回発行し、第５４号の発行に至った。

紙面づくりにおいては従来と同様、次の点を基本認識として編集にあたった。①議会の出来事はできるだけ全てのことを掲載すること。②議案内容と、それに対する質疑応答の記載に重点を置くこと。③閉会中の議会活動も掲載すること。

また、視察研修で学んだことを活かし、次の点を改善した。①前のページほど読まれる割合が高いことから、表紙に取り上げた記事の内容を２ページ目に詳しく掲載した。②表紙にＱＲコードを掲載し、スマートフォン等から簡単に市議会ホームページにアクセスできるようにした。③ホワイトスペースや写真を多く取り入れ、読みやすい紙面構成とした。④議決結果一覧を全議員賛成の議案と賛否の分かれた議案を分けて掲載し、見やすくした。

（２）広聴活動

○子育て学習・支援センター参加者との意見交換会

子育て世代から議会や市政に対する意見を聴くため、子育て学習・支援センター参加者との意見交換会を行った。

この意見交換会では、１０名が参加し、子育てをする保護者の視点からの南あわじ市子育て施策等についての意見を聴いた。参加者から頂いた意見や要望、アンケートの集計結果は、全議員及び市長に送付した。

○議会報告会

定例会の結果等を議員自らが市民に報告し、また意見交換を通じて、市民との意思の疎通を図るために、第８回議会報告会を福良地区公民館で開催し、３２名の参加者があった。当日は、見やすい図版などを多数使いながら３月定例会で特に議論された事項について報告を行った。意見交換会では、議会や市政に対する多くの要望や意見を頂いた。これらの意見や要望、アンケートの集計結果は報告書としてまとめ、全議員及び市長に送付した。

○子ども議会

第３回子ども議会は、前回と同様、市内の各小学校の代表１６人が子ども議員となり、「南あわじ市のまちづくりについて」をテーマに発言し、議員が答弁を行った。当日、約５０人の傍聴者が訪れ、子ども議員の熱い想いのこもった質問に耳を傾けていた。

管外調査では鳥取県北栄町議会の「高校生議会」を調査し、今後、本市議会も中学生や高校生にも対象を広げ、取り組むことが望ましいと認識した。

今後も幅広い世代から議会や市政に対する意見を聴く場を作り、積極的に市政に反映できるよう活動を行っていきたい。

決算審査特別委員（案）

第73回定例会

1	番	吉田良子
2	番	蛭子智彦
3	番	阿部計一
4	番	谷口博文
6	番	長船吉博
7	番	原口育大
8	番	小島一
9	番	川上命
10	番	廣内孝次
11	番	柏木剛
12	番	熊田司
13	番	木場徹
14	番	太田康文
15	番	森上祐治
16	番	中村三千雄
17	番	登里伸一